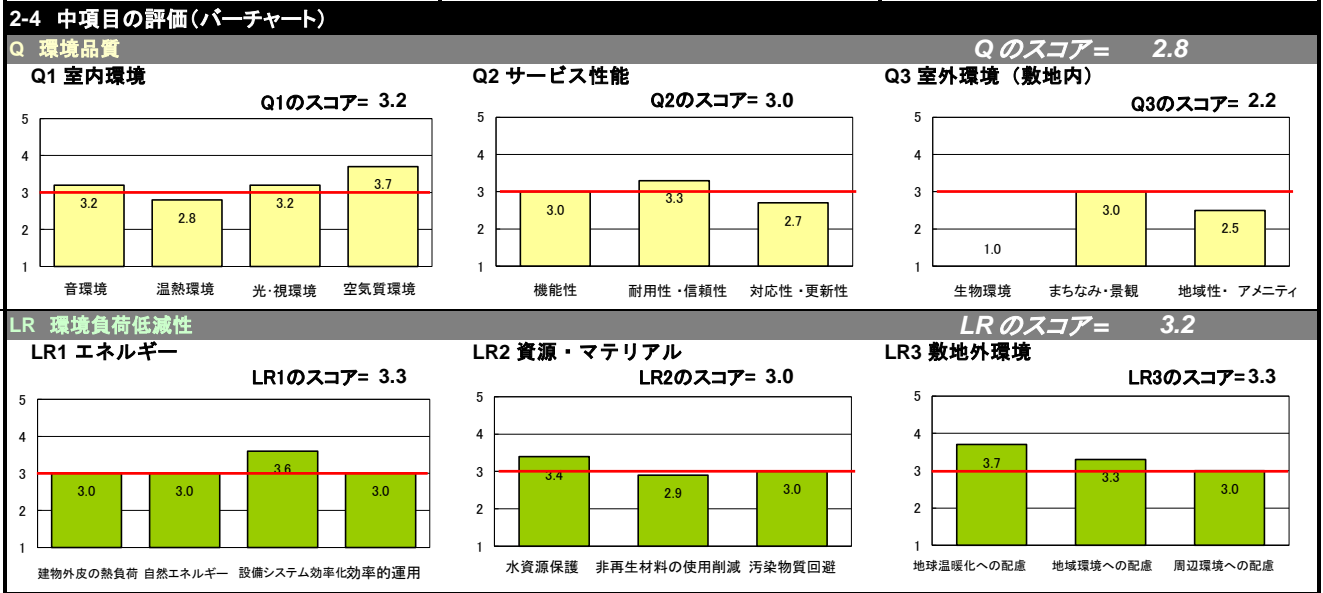
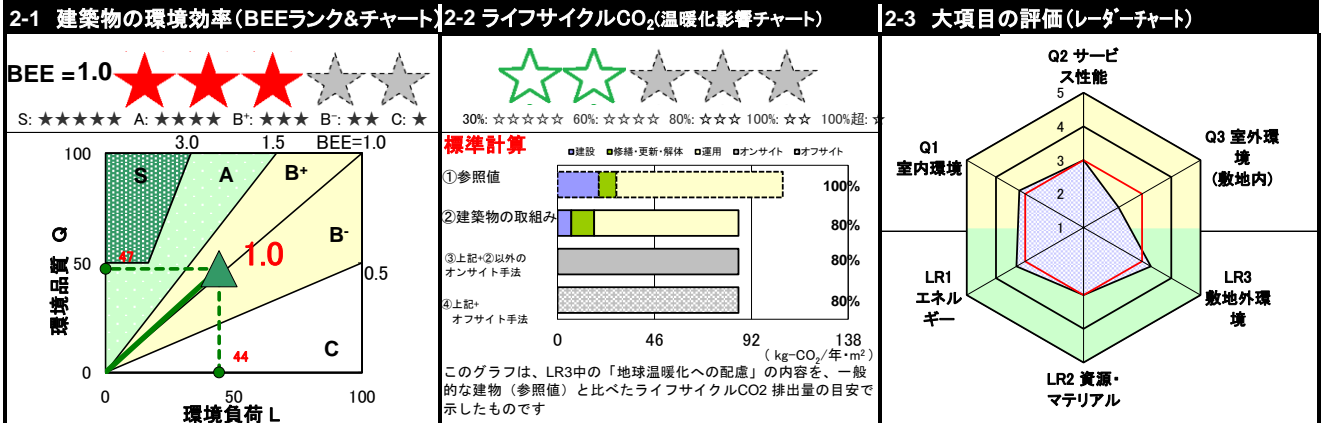


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)茅ヶ崎共恵一丁目計画新築工事	階数	地上11F
建設地	茅ヶ崎市共恵一丁目5715-4及び5715-19	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	90人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2018年12月 予定	評価の実施日	2017年5月22日
敷地面積	493㎡	作成者	山田建設(株)一級建築士事務所
建築面積	275㎡	確認日	
延床面積	2,446㎡	確認者	

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項		
総合	構造の安定性に加え、高効率の設備機器や有害物質の飛散の少ない建材を採用し、居住者にとって快適に生活できる計画とした。	その他
Q1 室内環境	住戸内に用いる建材は全てF☆☆☆☆とし、居住者が安全に、安心して生活できるよう計画した。	Q3 室外環境(敷地内)
LR1 エネルギー	潜熱回収型給湯器を採用し、効率性及び環境性に配慮した。	LR3 敷地外環境
Q2 サービス性能	性能表示基準において劣化対策等級3を取得し、躯体の機能維持に配慮した。	Q1 室内環境
LR2 資源・マテリアル	台所・浴室に節水型の水栓を採用し、水やガスの省エネ性に配慮した。	LR1 エネルギー

Q3 室外環境(敷地内) 外観は地域のイメージに沿った明るい色調とし、タイル貼で質感を保った。

LR3 敷地外環境 駐車場及び駐輪場を確保し、身障者用及び荷捌き用駐車施設を確保

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される